

義を見てせざるは勇なきなり

校長 牧田 健一

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。新型コロナウイルスの影響で、昨年も、保護者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。急な行事等の変更等、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。引き続き、新型コロナウイルス感染予防のご協力を改めてお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスだけではなく、ウクライナにおける紛争、急激な円安、物価の急騰など、世界で様々な課題が持ち上がりました。私自身も、全く予想していない出来事が多くありました。今後も予想だにしないことが起きるのだろうと考えられます。

学習指導要領が改訂されて3年目、令和3年度には、児童一人にタブレットが1台ずつ配布されました。このように、急激に教育環境も変化しています。その中で、新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックとなり、学校で何ができるのか、何をすべきなのかを模索する昨年でした。

「義を見てせざるは勇なきなり」論語の一節ですが、最近では、元ラグビー日本代表監督が使った言葉です。監督であるエディ・ジョーンズ氏は、ラグビーにおける自己犠牲の精神を教えたときに使ったとされています。ラグビーにおける「義」です。私たち学校教職員にとっての「義」は、子供です。子供にとって正しいことは何か、そしてそれを知っているのなら、それをやる、やり続けること、失敗を恐れず勇気をもって全力で取り組むことだと考えます。昨年は、その気持ちで運動会や阿波踊り、地域を題材とした学習等に取り組みました。

変化の激しいこの現代社会を、津久戸小学校の子供たちはどのように生きていくのだろうか、そして今身に付けさせていく力はどのようなものであるか等、日々試行錯誤し、「義を見てせざるは勇なきなり」の気持ちを忘れずに保護者の皆様、地域の皆様にお力をお借りしながら、より良い津久戸小学校、より良い津久戸の街、素晴らしい津久戸の子供たちの育成を目指して今年も全力で取り組みたいと思います。

持久走・縄跳び月間

本校では、1月は持久走月間、2月は縄跳び月間があります。

持久走とは、70%程度の力で一定の距離や時間を走る運動です。校内では、体育の授業や休み時間に取り組み、各自で持久走カードに記録しています。休み時間には多くの児童が一生懸命走っている姿が見られます。

走った周数を報告してくる児童も見られ、楽しみながら体力づくりができています。走ることはスポーツの基本なので走る楽しさを感じてほしいです。

縄跳びは全身の筋肉を使う有酸素運動であり、手首や足腰の強化にもつながる運動です。縄跳び月間では、個人で1つの跳び方を極めたり、多くの跳び方に挑戦したりすることができます。さらに、クラスによっては、長縄跳びに挑戦し、「連続8の字跳び」や「3分間8の字跳び」の新宿ギネスに挑戦することもあります。縄跳びに積極的に取り組み、できたときの達成感をたくさん感じてほしいと思います。



席書会

新しい年を迎えました。新年に筆をとり、書にしたためることを「書き初め」というそうです。その年の心構えや抱負などを書き記し精進するとうまくいくといわれています。



学校では、1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で席書会をします。硬筆は、かきかた鉛筆を使って、手本を見ながら書きます。毛筆はだるま筆を使い、力強く書きます。

書き初めの練習は、宇井芳子先生に教わりながら、11月頃から始めています。席書会では、一生懸命に練習した成果を発揮してほしいと思います。

今年も書き初め展を行います。ぜひご来校いただき、子どもたちの心を込めて書いた作品をご覧ください。

健康観察について

毎朝の健康観察にご協力くださり、ありがとうございます。健康観察カードへの記入と提出は、1月13日（金）で終了いたします。なお、引き続き感染症予防のために、ご家庭で検温、健康観察を行ってから登校するようにしてください。

道徳授業地区公開講座

列に並ぶ、信号を守る、順番を守る…私たち日本人にとっては当たり前の文化ですが、外国の人々からは称賛される文化でもあります。先日行われたワールドカップでは、試合観戦後の日本サポーターがスタジアムのゴミを片付けている姿が話題になりました。こうした「道徳心」は幼い頃から家庭や学校での生活の中で自然と身につけ、受け継がれているものです。

2018年から道徳が教科化され、学校では社会のマナーやモラル、人との関わり方などについて考え、自分を見つめながらよりよく生きていくための心を育んでいます。

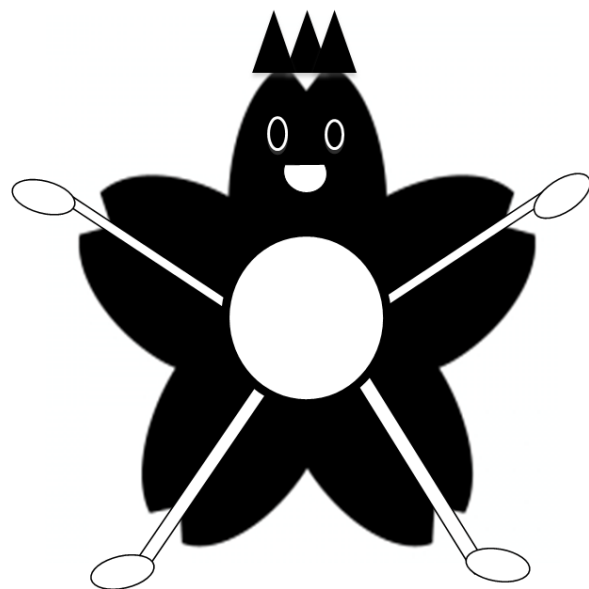
本校では1月に約3年ぶりとなる道徳授業地区公開講座が行われます。地域の方や保護者に向けて全学級で道徳の授業を公開するとともに、講師として昭和大学大学院の副島賢和先生を招き、「自分も相手も大切にするかかわり」をテーマに講演をしていただく予定です。副島先生は、京都の公立小学校教員として25年間勤務後、2006年～2013年まで同大学病院内にて「さいかち学級」の担任を務めました。2009年には、ドラマ「赤鼻のトナカイ」（日本テレビ）のモチーフとなり、2011年には「プロフェッショナル仕事の流儀」（NHK総合）に出演されています。人と人のかかわりについて考え、心を養う貴重な機会です。ぜひ足をお運びください。詳細は別紙でお知らせいたします。

1月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・学習の準備をきちんとしよう。
- ・忘れ物に気をつけよう。
- ・生活のリズムをとりもどそう。
- ・遊びのきまりを守ろう。

冬休みが終わりました。生活リズムを整え、落ち着いて学習に取り組めるようにご家庭のご協力をお願いいたします。まだまだ日が落ちるのが早く、暗くなるのがあっという間です。外に遊びに行くときには、だれと、どこへ行くのか話し、ご家庭で時間や場所など約束を決めていただければと思います。（生活指導部）



【お願い】

- 同居するきょうだい又は親族に風邪症状がみられた場合、PCR検査を受ける前であってもお子様の登校は控えてくださるようご協力願います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、お子様のことで不安等がありましたら、担任又は管理職にご相談ください。